



校外学習「春」

さわやかな初夏の日差しの中で、校外学習「春」が行われました。中学校での初めての行事でしたが、団長の武井先生が話していたように「ドキドキわくわく」の1日を過ごすことができたと思います。

最初に訪れたふじさん牧場では、羊飼いの吉川さんから羊の世話を教えてもらいました。羊小屋に入ると子羊たちが喜んで私たちのところに走ってきました。どちらかというと動物の苦手な私は、身動きがとれない状況になりましたが、子羊たちは、そんなことにはお構いなく、元気よく走り回っていました。餌やり、ミルクやり、羊に触れたり、生まれて1週間の羊を見たりと普段の生活にはない経験ができました。積極的に羊たちと触れ合い、餌やりができる生徒も少し苦手なことに躊躇している生徒もいましたが、勇気を出して餌やり挑戦している姿もなかなかよい風景でした。私も子羊に触れてみると、肌はとても柔らかくてミルクをぐくぐく飲み、



元気いっぱいでした。その後、羊飼いの吉川さんから生まれたばかりの羊をどう育てるのか(1週間同じ部屋に入れて互いを母と子として認識させること、そうしないとその後広いところに出すと世話をせず蹴り飛ばしてしまうことがあることなど)の話聞き、移動して社長の藤田さんからのいのちの授業をしていただきました。羊の世話はどうだったか、羊を育てる理由、羊を出荷するときの思い、食べたときの気持ちなどの話を聞きました。そして、実際にふじさん牧場で育った羊からできたソーセージを試食しました。食べたときの気持ちも様々でした。「おいしかった」「世話をしたときのことを思うと複雑な気持ちになる」「羊のことを思い出したけど、おいしい」など素直な気持ちを表現できてよかったと思います。社長さんは、食事をするとき、この食材はどんな風にてきたのか想像して食べると、違った食事の楽しみ方ができる。感謝していただくことを忘れないでほしい、と語ってくれました。午後は西湖のコウモリ穴の見学、樹海散策、富岳風穴の見学を行いました。洞窟の中は、ひんやりと涼しく、狭い



元気いっぱいでした。その後、羊飼いの吉川さんから生まれたばかりの羊をどう育てるのか(1週間同じ部屋に入れて互いを母と子として認識させること、そうしないとその後広いところに出すと世話をせず蹴り飛ばしてしまうことがあることなど)の話聞き、移動して社長の藤田さんからのいのちの授業をしていただきました。羊の世話はどうだったか、羊を育てる理由、羊を出荷するときの思い、食べたときの気持ちなどの話を聞きました。そして、実際にふじさん牧場で育った羊からできたソーセージを試食しました。食べたときの気持ちも様々でした。「おいしかった」「世話をしたときのことを思うと複雑な気持ちになる」「羊のことを思い出したけど、おいしい」など素直な気持ちを表現できてよかったと思います。社長さんは、食事をするとき、この食材はどんな風にてきたのか想像して食べると、違った食事の楽しみ方ができる。感謝していただくことを忘れないでほしい、と語ってくれました。午後は西湖のコウモリ穴の見学、樹海散策、富岳風穴の見学を行いました。洞窟の中は、ひんやりと涼しく、狭い

ところもあって動くのは大変でしたが、コウモリのいた洞窟や氷のできた洞窟を見学しました。その2つの違いは何かは、樹海散策のときにガイドさんから話がありましたね。ガイドさんは熱心にいろいろな



ことを話してくれました。どの話も興味深く、更に知りたい気持ち

も膨らんだのではないかと思います。全ての行程を終えて、バスに乗ったら、雨が降ってきました。学校に到着する頃には、たくさん雨が降っていて気温も低く、下校が大変だったかも知れません。



帰校式は翌日、行いました。その中で、みんながよく話を聞いていたこと、いのちの授業が一番よかったこと、好き嫌いはあるけど少し、勇気を持って感謝して食べたいと思ったこと、樹海

散策ではガイドさんが熱心に教えてくれたこと、教えてくれた知識を生かしたいこと、更に富士山や富士山周辺のこと、歴史なども気になったこと、仲間とも話ができたことなどの感想発表がありました。

学年委員会を中心に集合や点呼、会の運営を行いました。集合の仕方や話の聞き方など意識して活動できる場面がたくさんあり、1日の中で成長する場面がたくさんありました。リーダーも自分の役割を果たすこと、臨機応援に対応できたことなど、たくさんの成果が出たと思います。また、次の活動への課題も見つかりました。今後へ繋げていきたいと思います。お弁当の用意など家庭のご協力もありがとうございました。

